

## JavaScriptの効果を解析する

最近では、Ajaxなどの技術をきっかけにJavaScriptを使ったさまざまな効果が使われるようになってきました。JavaScriptを使えば、ページを読み込んだり、マウスを動かしたりといった訪問者の動きに合わせてページ内にさまざまな効果を付けられます。

たとえば、ネットショップでマウスの動きに合わせて服の色違いを表示したり、子ども用のサイトで、簡単なクイズを出してマウスを動かして答えを見る、といった動きもJavaScriptで実現できます。

従来アクセス解析ツールでは、155ページのワザ81で解説したFlashと同様にJavaScriptのアクセスを測ることもできませんでした。しかし、Google Analyticsなら、JavaScriptの動きごとにページビューとして解析することができます。以下の例のように、解析したいJavaScriptのイベントごとに架空のページを呼び出すようにすることで、JavaScriptの動きのひとつひとつが解析できるようになります。

**関連ワザ 38** JavaScriptを活用して外部へのリンクも数えよう……P.87

**関連ワザ 52** ファイルのダウンロード数を分析しよう……P.110

**関連ワザ 81** Flashの中がクリックされた数を数えよう……P.155

### 用語

Flash	……P.197
JavaScript	……P.197
アクセス解析	……P.198
ページビュー	……P.201

### Tips ページビューが増える

JavaScriptやFlashなどの動きを架空のページで解析するように設定すると、そのぶんページビューが増えることになります。正確なページビューを解析したいときは、別プロファイルを用意するなどの工夫が必要です。

### Tips トラッキングコードの位置に注意

Googleのヘルプによると「urchinTracker()」などのJavaScript関数を使う場合は、Google Analyticsのトラッキングコードの位置をスクリプトよりも上に移動する必要があります。

## ● マウスが重なったとき (onmouseover) の記述例

```
onmouseover=" javascript:urchinTracker('/onmouse/quiz'); "
```

画像やリンクにマウスが重なったときに「onmouse」ディレクトリの「quiz」という架空のページへのアクセスが記録される

**注意** 新しいga.jsのトラッキングコードを使用している場合は、「urchinTracker」の部分を「pageTracker.\_trackPageview」と変更する必要があります